

米軍基地の跡地利用などを講演「土地連セミナー」開催

米軍基地の跡地利用などを講演
「土地連セミナー」開催

一般社団法人沖縄県軍用地等地主会連合会（土地連、又吉信一会长）が主催する「土地連セミナー2024」が2月9日、沖縄市民会館で開かれた。又吉会長の主催者あいさつに続き、内閣府派遣駐留軍用地跡地利用計画プロジェクト・マネージャーの武米治郎氏が「キャンブ瑞慶覧ロウワー・プラザ地区返還に向けた取り組みについて」と題して基調講演。武氏はスライドを用いながら、沖縄市と北中城村に跨がる約23ヘクタールの同地区の概要や隣接するライカム地区との比較、土地利用プラン案などを説明した。続いて同連合会第4代事務局長の砂川直義氏が「土地連70年を顧みて」の演題で特別講演。1957年に入職し、桑江朝幸初代会長、比嘉貞信2代会長、徳元正信3代会長、新城馨4代会長と4人の会長に仕えた砂川氏は、自身の経験を踏まえて同会の歴史を振り返った。同セミナーは土地連の「地域社会の健全な発展に向けた返還及び跡地利用の促進に関する事業」の一環として、地権者をはじめ関係者に向けて跡地利用に関する情報発信することを目的に実施されている。



特別講演の砂川氏



基調講演の武氏